

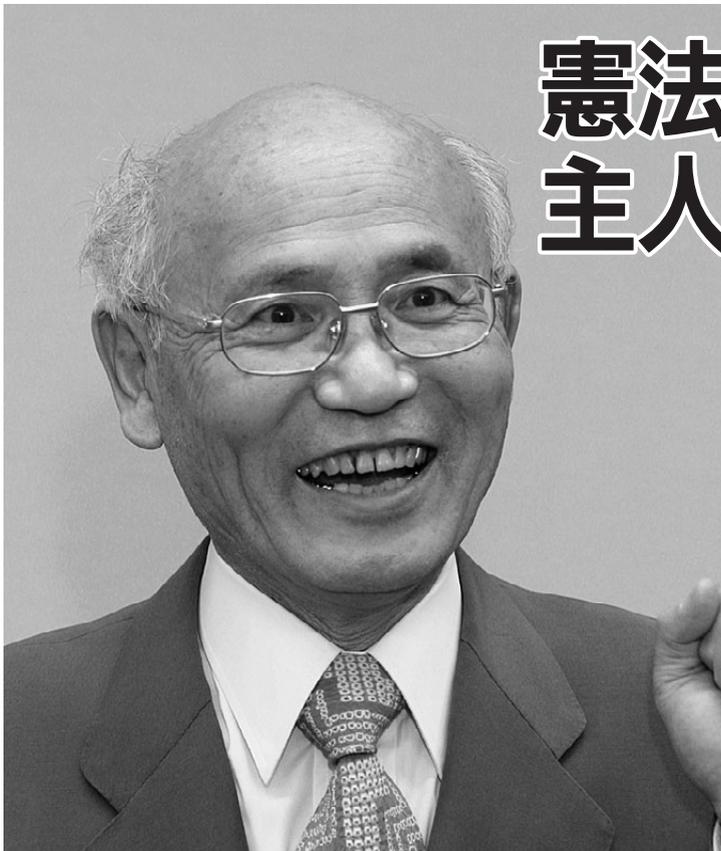
愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽松 佐一
第185号 2008年12月10日

愛労連・春闘共闘新春大学習会

とき 1月10日(土)13:15開会
ところ 名古屋市公会堂4階ホール
愛労連2009年旗びらき
とき 1月10日(土)17:30開会
ところ 名古屋市公会堂第7集会室
愛労連第40回臨時大会
とき 1月25日(日)10:00開会
ところ 蒲都市勤労福祉会館



決意を語る太田義郎さん

憲法をいかし市民が主人公になれる名古屋市政を

09年4月
名古屋市長選

太田義郎さんと

革新市政の会が推薦決定

庶民の苦しみや気持ち わかる米屋の大将

名古屋・革新市政の会は12月2日に、臨時世話人総会を名古屋市熱田区の労働会館ホールで開き、47団体・120人以上が参加しました。総会では来年4月に行われる名古屋市長選挙の候補者として愛知県商工団体連合会(愛商連) 会長太田義郎さん(64)を推薦すると決定しました。

候補者推薦提案とこれまでの経過について革新市政の会の大橋宗明事務局長は、「革新市政の会の候補者基準は、①憲法を市政にいかす姿勢をもつ、②市民の幅広い支持を得られる、③革新市政の会の基本政策を尊重すること。候補者検討委員会はこの方針に基づいて、太田義郎さんに立候補を要請してきた。太田さんはこの要請を積極的に受

け止め立候補を決意された。庶民の気持ちやわかり、米屋を営みながら幅広い活動をしてきた太田さんは市長候補として打って付けの人」と提案。満場一致の拍手で太田さんの推薦を決定しました。

このあと、大きな拍手で会場に迎えられた太田さんは、医療や福祉などをスタジアムにし、市民に犠牲を押しつけてきた民主・自民・公明与党の市政を批判。「かつて『福祉日本』と言われた本山革新市政のように、子どもや高齢者、弱者に光を当てる市政を取り戻すため全力をあげる」と決意を表明しました。

職場・地域の隅々から 太田さん推薦を

参加者からは、「市民が主人公となる市政を実現する」と決意が相次ぎました。革新市政の会の推薦決定を受け、愛労連は12月10日の幹事会で、太田義郎さんの推薦を決定しました。

愛労連では、名古屋市長選挙闘争方針について、年明けに開催される第40回臨時大会で確定することにしていきます。

また、12月19日の午後6時30分から名古屋市公会堂大ホールで開催される「つぐろくろく、暮らし大切の市政12・19市民のつどい」の成功へも全力をあげることにしていきます。

住ませる働かせろ 雇用を守れ

愛労連が「派遣切り、反対、雇用問題」で緊急行動

11月30日、豊田市内で開催した第25回トヨタシンポジウムでは、トヨタの期間労働者解雇に対する批判が集中。「トヨタは減益になったとはいえ、09年3月までに6000億円の利益を見込んでいる。雇用を維持する体力は十分ある」と指摘されました。トヨタは来年3月までに9000人近くいた期間労働者を3000人にすると発表、関連企業も大量の期間労働者の解雇をすすめています。下請企業では「今回の減産でまたもコストダウンが強

トヨタシンポには100人が参加

米国発金融危機が日本の实体经济に深刻な影響をもたらしています。日本経済を「リード」してきた自動車や電器など輸出企業は軒並み減産・減益になるなかで、トヨタをはじめ大企業は派遣や期間労働者の大量解雇・雇止めをすすめています。



愛知労働局に要請する愛労連四役

「派遣切り」がひろがり、寮を追われる労働者があつとをたちませる。派遣労働者は、解雇されればすぐに住居を失います。こうした雇い方を拡大して、減産になったら解雇という企業のやり方は許されるものではありません。

トヨタ本社・関連企業行政機関に要請

愛労連はこうした事態に対し、「住ませろ！働かせろ！」という要求で、労働局、中部経済産業局、愛知県をはじめ西三河各市、ハローワークへの緊急要請をおこないました。とくに、労働局には解雇になった場

合の住宅を確保すること、雇用保険特別会計を活用した対策の強化を求めました。愛知県・各市には、解雇された労働者の生活保障の施策を要請しました。

愛労連は雇用問題を09春闘の最大の課題に位置づけ、派遣切りをすすめる企業の身勝手な許さないたたかいを強化していきます。

12月7日には春闘討論集でも雇用問題で集中的な議論をおこない、民間部会とも協力し、雇用対策本部を設置してとりくみを強めていくことにしています。

「派遣社員の父 親がリストラされた。授業料減免は受けても、教材費や定期券代など払えない」定時制高校で出す夕食がその日の初めての食事になる生徒もいる「私立大学の受験料は平均3万5千円。5、6回の受験はざらで、交通費や宿泊費もかかる。進学をあきらめざるをえない」。11月末におこった「教育格差・告発ホットライン」に寄せられた声である▼ホットラインでは、県立高校のクーラーについての声が多く寄せられた。県教委が父母負担で補習に使うならばとクーラーの設置を認めた。いわゆる進学校に次々と設置されたため、大きな学校間格差を生んでいる。そもそも何で親がお金を出して学校にクーラーをつけなくてはならないのか。許せない話だ▼世界の流れは「教育費の無償化」だ。国際人権A規約第13条(b)(c)項では、中・高等教育の漸進的な無償化をめざしている。規約を批准している158ヶ国中、日本、ルワンダ、マダガスカルの3ヶ国だけがこの項を留保している。また、OECD加盟30ヶ国の中で、高校の授業料が無償でないのは日本、韓国、イタリア、ポルトガルの4ヶ国だけ。「教育費の無償化」は当たり前のこと。政治を変えて「安心して子どもを産み、育てることのできる社会」にしていこう。

「和」



ユーモアたっぷりの中田さんの講演

愛知国公では国の職場で働く非常勤やパート職員の交流会をおこなっています。6月の交流会には31人が参加。代表幹事の尾崎さんにお話をいただきました。非正規を組織するため「国一般愛知」が立ち上がったことも報告されました。

午後には分科会と分科会にわかれ、分科会では「パートの権利」について榎本事務局長を講師に学習会を開催。分科会では、ヨーロッパ視察に出かけた経験について生協労連の参加者から「日本との違いを外に出して改めて感じました。国に対してパート・臨時労組連絡会として意見書など、どんどんあげていく必要がありますね」と発言がありました。(パート・臨時労組連絡会)

非正規労働者のたたかいが社会を変える
パート・臨時の元気が出る集いに73人
11月24日、労働会館本館で第13回パート・臨時の元気の出る集いがおこなわれ73人が集まりました。記念講演には関西勤労者教育協会講師の中田進さんを迎え、「非正規労働者のたたかいは職場と社会を変える力」をテーマに学習。

師走に入り何かと忙しくなってきましたが、いよいよ09春闘が始まります。愛労連と愛知春闘共同は12月7日に春闘討論集会を行いました。アメリカ発の金融不安が日本の実体経済にも波及し、愛知では非正規労働者の雇用が深刻な事態になっています。09春闘でなにを勝ちとるのか、職場で話し合ってみましょう。

政治の転換を「実現することです。いま、自動車や電器など輸出を中心とした製造業で期間工や派遣労働者の大量「首切り」が強行

奪われ、住居を追われています。西三河地方では、生活保護の相談が急増しています。「雇用の確保と安定」は緊急・最大の課題となっています。9件と6年ぶりの高水準です。地域経済も深刻な打撃を受けています。地域のコンビニや商店街も大幅に売り上げが落ちたところも出ています。自治体の税収減も必至の状況です。

一方、自公政権の無策ぶりは目に余ります。2兆円ものばらまき「給付金」では、根本的対策と

09春闘は、まさに正念場の春闘です。黙ってはいけません。労働者の団結とたたかいで世直しするために、この12月から1月は大事な準備期間です。全組合員参加の学習会です。



なくせ貧困、生活危機突破 09春闘で政治の転換を

全組合員参加の学習会を

自分にも作れそうな気がします 自信がつけました

第13回あいち機関誌・宣伝学校



参加者どうして教えあって学習

今年で第13回目となるあいち機関誌宣伝学校は、「読まれる待たれる新聞・チラシづくり」をテーマに11月29日から30日にかけて名古屋熱田区の労働会館で行われ、86人が参加しました。(29日は49人、30日は64人)

初日には、超左翼マガジン・ロスジェネ編集長で作家の浅尾大輔氏を招き記念講演。浅尾氏はこれまで接してきた非正規労働者の実態と同時に、その青年たち

が権利を学びたかうことで大きく変わってきたことを紹介。あらためて労働組合が生活と雇用を守るたたかいに大きく立ち上がることを呼びかけると同時に、教育宣伝活動の重要性を強調しました。

家族・知人等で困っている方にご紹介ください。
パート・臨時・派遣、どなたでも相談できます
無料! 労働相談110番
祝祭日を除く月~金 9:30~16:30
E-mail 110@airoren.gr.jp
または検索サイトで「愛労連」
愛労連労働相談センター
Tel.052(881)1411

安全衛生
あなたの職場でも年末年始安全衛生総点検を
「年末年始無災害運動」が、12月15日～翌年1月15日まで、中央労働災害防止協会が主催し、厚生労働省の後援でとりくまれます。標語は、「目配り気配り安全確認 無事故でつなぐ年末年始」で、金山駅には大きな垂れ幕が出されます。では、労働組合は何を行うのか。安全衛生総点検運動、パトロールはどうでしょう。愛知労働局も「職場全体の安全衛生総点検の実施」を事業主に迫っています。労働局は「家族待つ年末年始 無災害」をスローガンに、12月1日から来年1月20日まで、年末年始安全衛生総点検運動を呼びかけ、「職場の安全衛生点検表(業種別)」をHPに掲載しています。製造業用、建設業用、陸上貨物運送事業用、商業用などがありますので、職場にあわせて改善してはどうでしょう。

【明治乳業争議団】
今回はメインバンクである、みずほ銀行名古屋支店、名古屋中央支店、名古屋駅前支店の3カ所の要請を実施しました。争議団員の説明を受け、みずほ銀行の対応者は「要請内容は、本社は、バンク名古屋支社への要請を実施しました。」
今後、早期解決のため運動を強めていきますので協力をお願いします。
【ソフトバンク争議団】名古屋駅にあるソフトバンク名古屋支社への要請を実施しました。争議団は、争議の早期解決に向けて企業・銀行に対して要請行動を展開しました。
争議団は歴史のある栄総行動に結果として、多くの争議を解決してきました。その教訓に学んで、地域労連が軸になった地域総行動にもとりくみ、争議解決に大きな役割を果たしてきています。国鉄1047名の解雇撤回のたたかい、明治乳業支援の行動など、原告を励まし全国のたたかいの一翼を担って活動しています。

たたく仲間たち NO.48
**地域から争議をなくすたたかいを
早期解決に向けて
栄総行動で要請実施**
愛知争議団連絡会 事務局次長 植木 日出男
報告する「個人的な意見だが、長期の争議であり早期の解決が望ましい」と思う一等等、明治乳業の対応の悪さを疑問視する発言もありました。
請行動は、10人にて実施しましたが、会社としては会議室も用意せず、誠意のない対応に終始しました。社会的に過労死問題が注目され、一般新聞においても過労死企業を公表せよとの主張がされる中、ソフトバンクの対応はこうした流れに逆行するものです。
来年も、高裁において判決が出る予定であり、社会的に包囲する運動が求められています。みなさんのご協力をお願いします。
争議団は歴史のある栄総行動に結果として、多くの争議を解決してきました。その教訓に学んで、地域労連が軸になった地域総行動にもとりくみ、争議解決に大きな役割を果たしてきています。国鉄1047名の解雇撤回のたたかい、明治乳業支援の行動など、原告を励まし全国のたたかいの一翼を担って活動しています。

雇用安定と賃上げこそが 内需拡大・金融危機突破の力

景気後退局面でも年末一時金闘争で建交労や全港湾が奮闘

Topics



11/22

豊橋市民文化会館にて「鳥居先生の公務災害認定を求める学習会」が行われ100人が参加。12/2には名地裁に提訴



12/3

愛高教は県下一律の地域手当改悪許すなど11/2の全県一斉宣伝以降、12/17まで毎水曜日に県庁前で宣伝



12/7

第25回高蔵寺弾薬庫1周マラソンには410人が参加。クラスター爆弾廃止などの世論も広がり過去最高の規模に



12/10

C130H輸送機が故障で緊急着陸し滑走路の一時閉鎖。今年4回目の重大事故に安保破棄実行委員会などが抗議

**みんなのとりくみ
お寄せください**

単産・単組や地域でのとりくみを写真（デジタルでも可）と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは…
TEL 052-871-5433(竹内)まで
E-mail post@airoren.gr.jp



11.19秋の地域総行動では、県下約160カ所での早朝宣伝、行政に雇用問題での緊急要請、決起集会や学習交流会にとりくんだ（写真は守山労連のデモ行進）

建交労と全港湾が
前年並み確保

今年になってやっとガソリン・軽油の価格が下がってきたとはいえこの間の原油高の影響で厳しさの続くトラック業界。「運送業界ではものすごく倒産が増えている」というなかですが、建交労では要求をあくまで満たさず一時金闘争をたたかっています。11月末までに55組織中30組織で回答を引き出しました。昨年は比△684円ですがほぼ前年並みの結果となっています。

春闘では前年を上回った

名古屋港関係ですが、秋になってから自動車関連の輸出が減少し、特に海上コンテナは10月以後大きく落ち込んでいます。それでも年間を通じての経営状況はまあ維持しており、昨年をやや上回るつもりでいます。港ではトヨタ系の新しいリース（TCB）の二次稼働に伴い、協定締結のたかひを強めてきました。その結果、港運協会の協定で名港協とTCBとの実質的な協定を締結。労働組合との事前協議など港のルールを守ることが確認できました。

正規の賃下げ
非正規に影響させるな

先月民間3単産と愛労連は名古屋市のマイナスイノベーションを「非正規にまで影響させるな」と市長に申し入れました。その後も市労連・市職労などが当局との交渉を重ねてきました。その結果、保育パートの時給については当初の「マイナスリンク」回答を変化させてきました。今後、建交労保育パート支部との交渉にゆだねられます。

政府・与党は「介護労働者の待遇を改善するため」、来年4月に介護報酬を3%引き上げる方針を決めました。これは「介護崩壊」の実態を訴え安心して介護制度を求めてきた世論と運動の成果です。介護労働者の平均で2万円の賃上げをめざすとされています。

一方、赤字施設が多くをしめるなか、この報酬引き上げが本場に待ったの改善に結びつくか心配もあります。福保労は厚労省交渉で介護報酬引き上げが確実に労働者の待遇改善に結びつくものとなるよう要請しています。



会場いっぱいの参加となった全体会

09国民春闘のたたかいは、個人消費はGDPの6割をしめており、景気回復のためには賃上げと働くルールの確立が必要。外需依存型経済から内需主導型経済への体質改善をめざしたとりくみを重視する。「いままでの延長ではない、日本を変える09春闘にしよう」と呼びかけまし

愛労連と愛知国民春闘共闘委員会は12月7日、名古屋市中熱田区の労働会館で2009国民春闘討論集会を開催。各組合から110人が参加しました。

基調講演は全労連および国民春闘共闘委員会の井上久事務局長。09国民春闘をめぐる情勢について「歴史的転機の中での09国民春闘」と題して報告。

井上氏は、アメリカ発の金融危機と世界同時不況について、背景には新自由主義の「市場万能論」と規制緩和路線の推進など行き過ぎたカジノ資本主義の破綻がある。1990年当時、世界の実体経済は3100兆円、金融資産は5500兆円だったのに対し、2007年には実体経済が640兆円、金融資産は2京2000兆円に膨れ上がっていることを紹介し、こうした政策が深刻な不況と格差をつくり出したとしました。

このあと、愛労連の博松事務局長が09愛知国民春闘方針の第1次案を提案。午後からは1分科会、4分科会で討論をすすめました。

愛労連は今後、さらに討議を深め、1月25日の臨時大会で春闘方針を確定することとしています。

外需依存・大企業中心からの脱却を 09国民春闘討論集会に110人

青年協ニュース AIAI 集まりやすい場所をつくらう

青年協第19回定期総会&講演会に65名参加



1年間元気いっぱいがんばります

12月6日、愛労連青年協第19回定期総会を行い、記念講演には青年以外の方も参加し、全体で65名、総会には44名が集まりました。

記念講演では、首都圏青年ユニオン書記長の河添誠さんより「若者に広がる貧困と労働組合の可能性」と題し、青年の置かれている現状と青年ユニオンの活動についてお話いただきました。

総会の討論では、参加者より「長野へ平和ツアーに行こう」といった単産の活動報告や「会議では軽食を出して、みんなが集まりやすい雰囲気をつくってほしい」といった会議、交流の在り方についての提言などがありました。

【新役員】
議長 松本彩子（医療連）
副議長 中野陽子（福保労）
事務局長 大威和明（医事連）
副事務局長 成田智美（福保労）
内田武司（愛高教）
自治労連より2名

またサマーセミナーのDVD上映では、楽しそうな雰囲気を見て「来年はサマーセミナーに参加したい」との発言もあり、会場から歓声があがりました。

議案は満場一致で可決、新役員も全員信任を受けました。新旧役員が交代し、最後は新議長の掛け声のもと、笑顔で団結がんばろうをおこない、09年度がスタートしました。

何か流行語にノミネートされるか 高木 徹

全医労が100ヶ月連続拡大達成 秋の組織拡大月間終盤 地道なとりくみで成果広がる

秋の組織拡大月間は終盤を迎えています。全医労名古屋医療センター支部では2000年8月以来、毎月コツコツと連続拡大を続け、ついに100ヶ月連続達成。当局の厳しい攻撃を受けながらも看護師寮の前で残業チェックを行い、医師・看護師増員署名で職場の信頼を勝ちとってきた。この粘り強さは愛知県医労連全体の組織拡大に大きな影響を与えています。



名古屋タイムスの廃刊で解雇者も出ている名古屋タイムス社前で、全印総連が「組合に入ってたたかう」と宣伝行動（12月2日）

年金者組合は「秋の仲間づくり月間」で11月末までに56支部のうち7割以上となる41支部で新しい仲間を迎えました。年金者組合はこの秋、後期高齢者医療制度廃止、名古屋市国保料引き下げ、年金者一揆など署名に、集会やデモに大奮闘。日泰寺や興正寺、各地域労連でとりくむ街頭署名でも「行列ができる」とお年寄りの大きな支持を受けています。仲間の拡大はこの運動をさらに大きくすすめる力になっていきます。11月7日、福保労働東海地本事務所にやってきてくれたKさん。手に持っていたのは10月19日にケアマネ試験会場前で配布した「宣伝セット」でした。「資料見てもおもしろそうだと思って」来たそうです。職場に組合がなく「他の職場の人から少しでも仕事の話を聞きたい」と話しています。

みんなの声

■前任校の友人からうれしいメール。一度に3人の組合加盟があったと。学校の現状を何とかしたいとの思いのあらわれ？（愛高教・小林陽子）

作成も手伝います。「機関紙を配ると」第2組合、がんばってくださいよ」と声がかかります。もっとたくさんの方が通信労組に入ってくれと働く条件がよくなるんですけどね」と。

「激動の5年間でしたね」と振り返り、駒井清美さんは言います。通信労組に加入して5年。2年目には名古屋から

おやまほす

NO.56 通信労組

ら京都に見せしめ配転されました。NTT西日本では初めて女性の単身赴任となったのです。それでも「名古屋はもろろんのこと、大阪や京都、関西の仲間のお世話になって5ヵ月半で戻ってこられました」と笑顔

機関誌を通じて仲間づくりすすめたい

はぜんぜんしていません」と、その表情は晴々しています。

仲間から元気をもらって

今年から機関紙の編集長が支部の委員長になったため駒井さんは機関紙



駒井 清美さん
通信産業労働組合
愛知支部

今後の主な日程

- 新春大企業向け宣伝
1月7日(水) 8:00～
名古屋駅・ミッドランドスクエア
- 愛労連・春闘共闘新春大学集会
1月10日(土) 13:15～
名古屋市公会堂4階ホール
- 愛労連2009年新春旗ひらき
1月10日(土) 17:30～
名古屋市公会堂第7集会室
- 新春大企業向け宣伝
1月12日(成人の日) 7:30～
JR刈谷駅
- 愛労連第40回臨時大会
1月25日(日) 10:00～
蒲郡市勤労福祉会館

新役員紹介

- 年金者組合・大家信義
家の近くのガソリンスタンドはガソリンと軽油の値段が一緒になりました。外国ではあるようですが、日本では初めて見ました。トラック会社等は大変でしょう。(全連輸・山下富治)
- 職場で最近砂漠化が進み、職員間の連帯が失われているようです。(愛高教・小宮太郎)
- 通信労組
執行委員長 飯田栄／副執行委員長 大村美恵／書記 長 今木洋治
- 瑞穂区労連
議長 井上成人／副議長 加藤伸久／事務局長 関久
- 一宮地区労連
議長 鈴木久枝／副議長 坂至正／事務局長 堀池良雄

花を愛で、語らいを肴に美酒に酔う

「あるきにすとの会」



2007年4月大川入山(横岳)にて(右端が筆者)文・写真 市場文規 (あるきにすとの会代表)

「山歩」愛読ありがとうございます。次回が最終回ということですが、「あるきにすとの会」の紹介を少しさせて頂きます。愛労連女性協と全国一般あいち支部の仲間です。スタートしたハイキングの会、家族や友人へと広がり、会員は約30人。年数回のハイキングと1、2回の飲み会。飲み会になると出席率が跳ね上がる「会」。「花を愛で、語らいを肴に美酒に酔う」が会のモットーです。写真を見ると、皆さんご存じのそうそうたるメンバーにお気づきかもしれません。「市場さんですごい人ですね」とよく言われますが、「あるきにすとの会」は皆さん可愛らしく華麗(加齢?)なる方ばかりですよ。

労働相談の窓

労働者の使い捨て広がる異常な年末

派遣社員のYさん(男・40代)は、来年の3月31日まで契約期間があるのに年内一杯で解雇すると派遣会社から通告された。理由は派遣先のM自動車から解雇予定リストが届いた中にあなたの名前が載っていたと云われた。また、自動車部品会社に派遣されたTさん(男・40代)は、派遣先から単価を下げられたと皆手当廃止、時給

100円カット、更に減産で残業や直手当カットも心配、寮費5万8千円引かれると生活ができない。四国の父も僅かな年金で頼れないと訴える。自動車販売業の社長という方は、新車や部品の販売手数料の廃止、新車販売はディーラーに集約と聞かされている、そうになったらもうおしまいだと声を詰まらせる。貴金属店の本社から、封書

で閉店と解雇の通告が3つの店と自宅に届いたと相談に。燃油高や不況による消費の冷込みで...など、労働者の使い捨てが裾野を広げている。もう、あれこれ云わず早く有効な手を打てとの怒りが募る異常な年末。それでも泣き寝入りはいやとの思いに応え、もう少し勇気を出そうよと励まし解決の道を語りあう担当者の熱意が続く。(阿部)

BOOKレビュー



「生きづらさ」の臨海 湯浅 誠 河添 誠 [編] 旬報社 定価1500円+税

青年結集のヒント
非正規労働者はその働き方をみずから選んだのか、ネットカフェ難民は自己責任なのか？答はノーだ。無権利の状態でも働かされているのに、なぜ労働組合に結集しないのかと考へがちになるが、「自己責任論」が浸透するなかで職場にも家庭にも居場所がなく生きづらさを感じている青年が多い。NPOもやいの湯浅氏と首都圏青年ユニオンの河添氏を中心に学者との鼎談は私たちに、青年を結集していくうえで多くのヒントを与えてくれる。